

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	財政管理経費（財務書類作成等委託料）				所管課	財務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●			●		
事業対象	町、町民、事業者	目的	地方公共団体の厳しい財政状況の中で、財政の透明性を高め、住民に対する説明責任をより適切に果たすとともに、財政の効率化・適正化を図る。				
事業概要	財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書）を作成する。						

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	04	大事業 財政管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	561	649	528		
	概算人件費	877	998	1,167		
	トータルコスト	1,438	1,647	1,695	0	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 6 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,167 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,167 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	財務諸表の公表回数 （HP、その他の方法）（回）	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値		1	1	1		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・令和5年度決算に基づく統一的な基準による財務諸表を作成し、公表することができた。
	課題	・財務諸表の作成は、委託をしており職員で対応するには内容に専門性が高く、ノウハウの継承が困難となっている。 ・作成した財務諸表を活用して財政的課題の効率化・適正化を図りたいがそこまで至っていないのが課題となっている。
今年度	成果（実績）	・令和6年度決算に基づく統一的な基準による財務諸表を作成し、公表することができた。
	課題	・財務諸表の作成は、委託をしており職員で対応するには内容に専門性が高く、ノウハウの継承が困難となっている。 ・作成した財務諸表を活用して財政的課題の効率化・適正化を図りたいがそこまで至っていないのが課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持